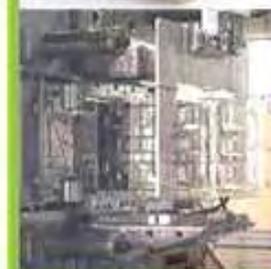
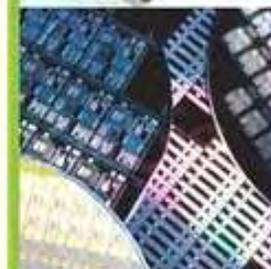


ミライアル株式会社

2016年1月期 決算説明資料

2016年3月9日

2016年1月期 決算概要・	p. 1
2017年1月期 業績予想・	p. 7
経営戦略	p. 9





2016年1月期 決算概要

1. 売上高/経常利益の比較

■ 決算概要

✓ 売上高: 8,125百万円 (前年同期比 13.6%減)

当連結会計年度における当社グループを取り巻く経営環境は、上期は比較的堅調に推移したものの、下期に入り、主力のプラスチック成形事業の主要販売先である半導体業界において、PCやスマートフォンの成長率の低下等の影響により、調整局面を迎えたため、厳しい状況となりました。

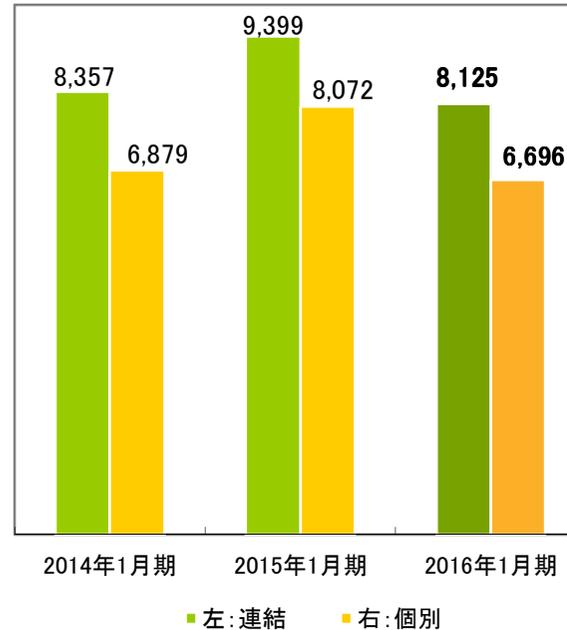
このような経営環境の中、当事業の主力製品である300mmシリコンウエハ出荷容器「FOSB」は、上記の状況に加え、リユースの増加による新品の需要が減少し、また工程容器「FOUP」の売上が減少したため、減収減益となりました。

✓ 経常利益: 780百万円 (前年同期比 38.0%減)

コスト削減を図ったものの、生産・販売量の減少が大きく影響し、減益となりました。

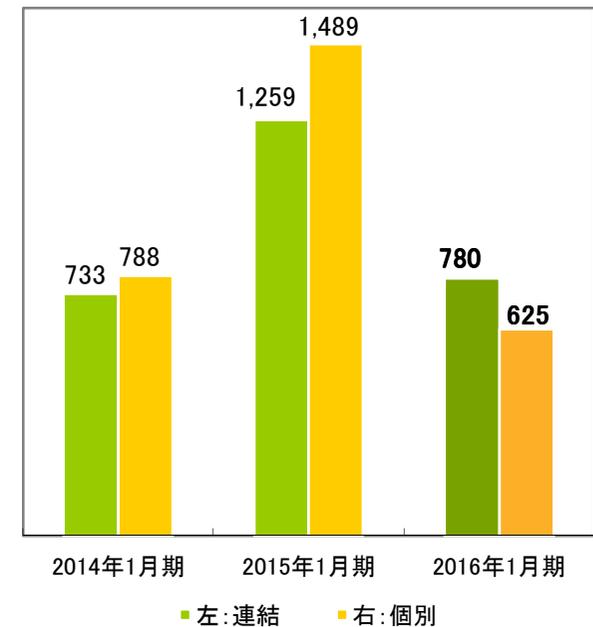
売上高

(単位: 百万円)



経常利益

(単位: 百万円)



※個別の経常利益には、連結子会社からの配当金が含まれております。

2014年1月期: 216百万円

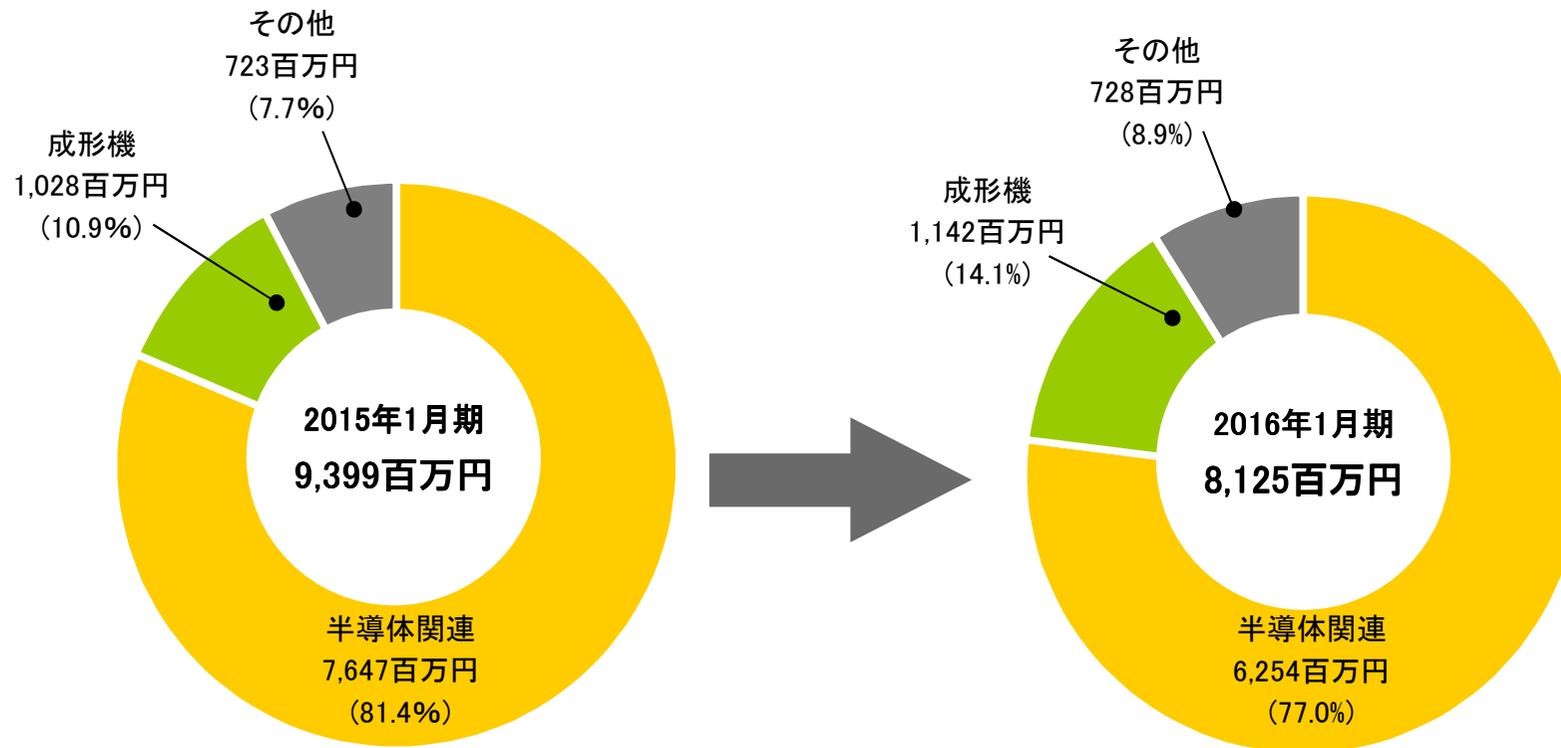
2015年1月期: 295百万円



2016年1月期 決算概要

2. 事業別売上高の比較

事業別売上高(連結)





2016年1月期 決算概要

3. 業績の概要

連結業績

(単位:百万円・%)

	2015年1月期		2016年1月期	
	金額	前年同期増減率	金額	前年同期増減率
売上高	9,399	12.5	8,125	△13.6
売上総利益	2,709	21.4	1,931	△28.7
営業利益 (営業利益率:%)	1,063 (11.3)	85.5	470 (5.8)	△55.8
経常利益	1,259	71.6	780	△38.0
税金等調整前 当期純利益	1,130	57.9	435	△61.5
当期純利益	769	73.6	258	△66.4
設備投資	333		441	
減価償却	611		551	
純資産	15,446		15,488	
総資産	18,864		17,956	

個別業績

(単位:百万円・%)

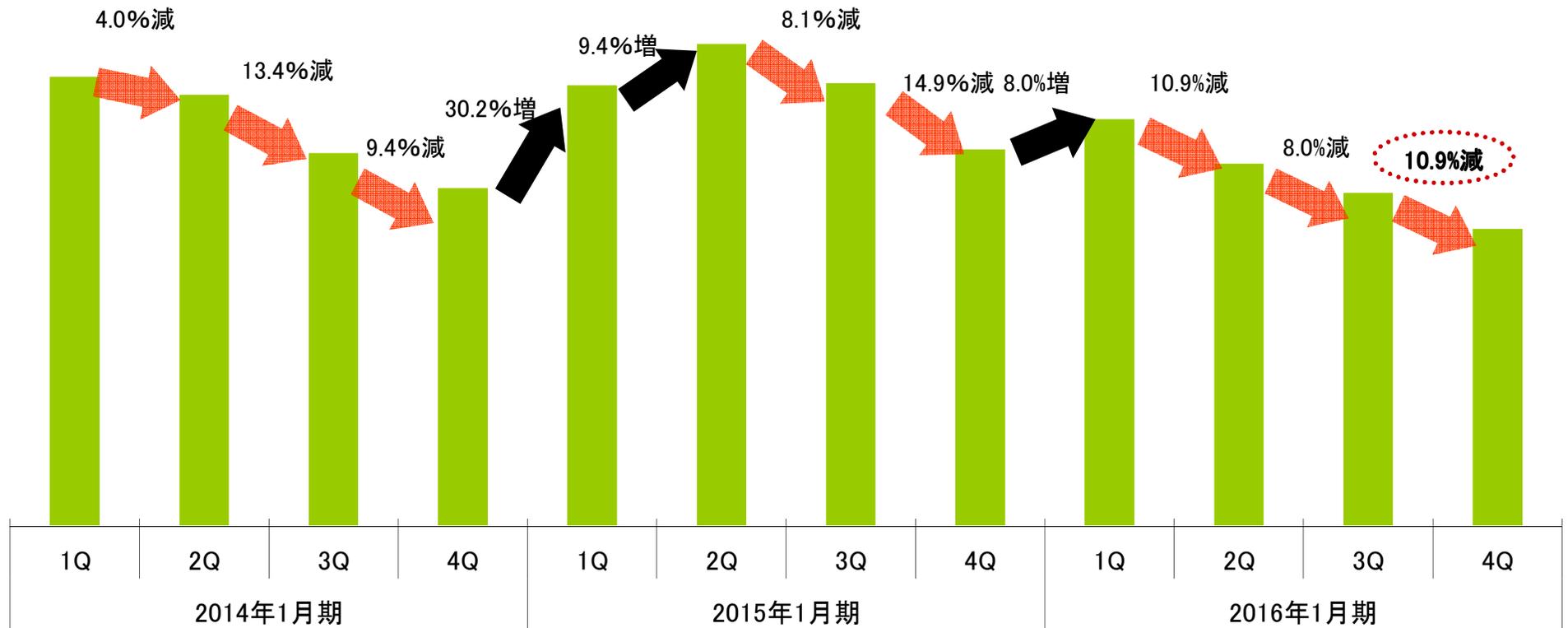
	2015年1月期		2016年1月期	
	金額	前年同期増減率	金額	前年同期増減率
売上高	8,072	17.3	6,696	△17.0
売上総利益	2,368	33.3	1,540	△35.0
営業利益 (営業利益率:%)	1,006 (12.5)	113.5	321 (4.8)	△68.0
経常利益	1,489	88.9	625	△58.0
税引前当期 純利益	1,307	68.5	286	△78.0
当期純利益	900	72.9	121	△86.5
設備投資	350		421	
減価償却	571		525	
純資産	15,377		15,186	
総資産	18,058		17,121	



2016年1月期 決算概要

4. 半導体関連製品事業の業績

シリコンウエハ出荷容器 売上高の推移 (四半期毎)



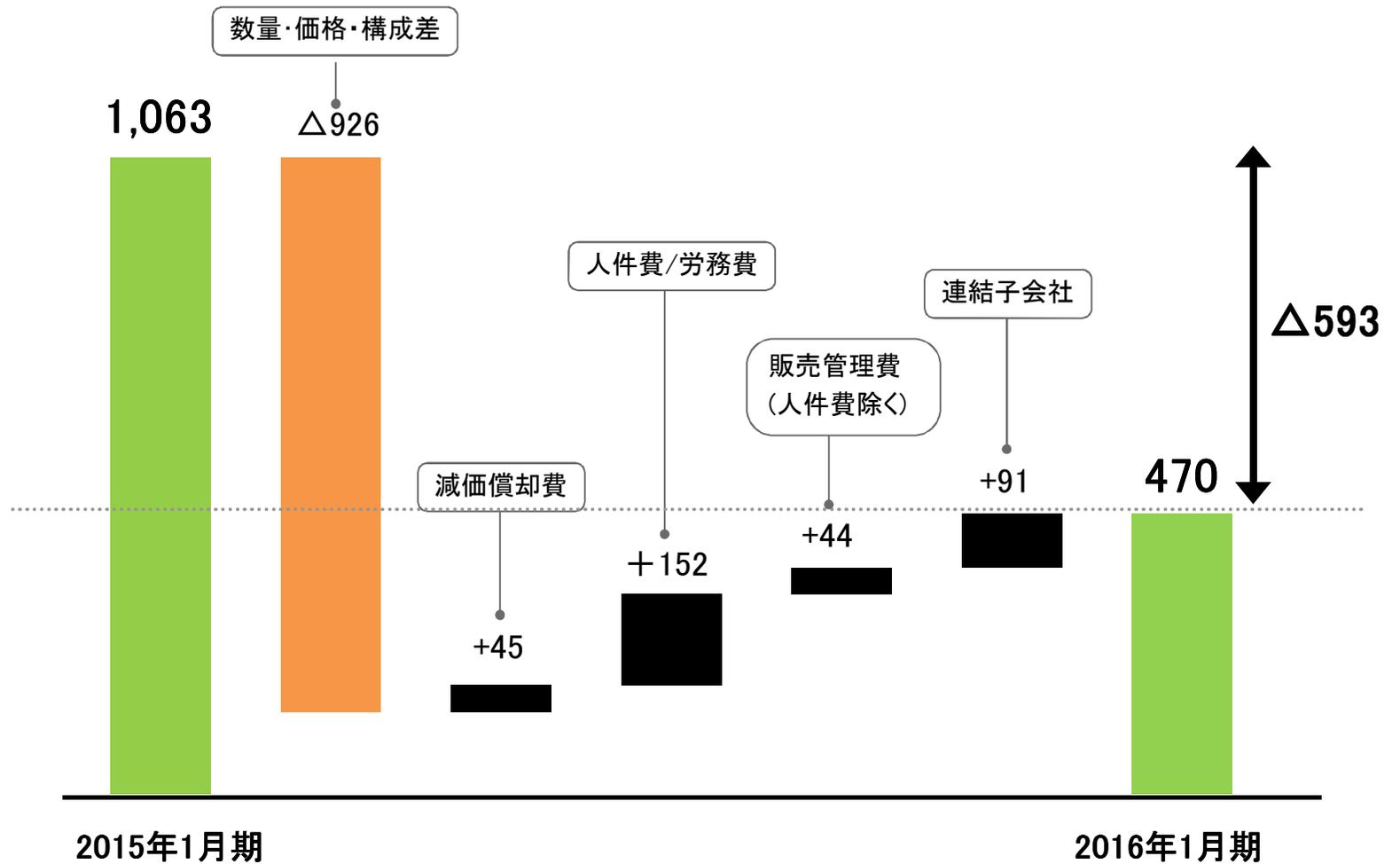


2016年1月期 決算概要

5. 営業利益増減要因分析(連結)

対前年同期比

(単位:百万円)





2016年1月期 決算概要

6. キャッシュ・フロー(連結)

キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2015年1月期	2016年1月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,141	534
(内)減価償却前税引前利益	1,742	987
(内)仕入債務の増減額	264	△278
(内)未払消費税等の増減額	143	△107
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27	1,444
(内)固定資産の取得による支出	△380	△419
(内)3ヶ月超定期預金の増減額(△は増加)	400	1,700
財務活動によるキャッシュ・フロー	△425	△222
(内)配当金支払	△359	△179
(内)有利子負債の増減額	△95	△42
キャッシュ・フロー	1,688	1,755

	2015年1月期	2016年1月期	差 額
キャッシュ・フロー残高	5,981	7,737	1,755
+3ヶ月超定期預金残高	3,200	1,500	△1,700
現金及び預金残高	9,181	9,237	55

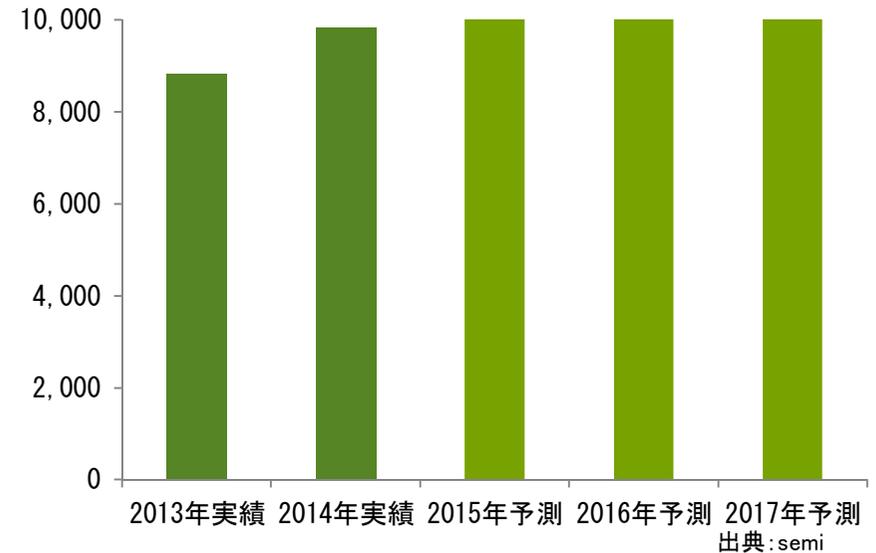


2017年1月期業績予想 1. 業績予想サマリー

売上高

- 世界全体の半導体市場規模は、景気循環の影響を受けながらも、マクロ的には緩やかな拡大を続けていく見通しです。
- しかしながら、当社主力製品である300mmシリコンウエハ出荷容器「FOSB」については、リユースの進展もあり、厳しい状況が続く見込みであります。

■300mmシリコンウエハ出荷面積予測(100万平方インチ)



営業利益、経常利益

- 当社は品質向上と更なるコスト削減による競争力の強化を図ってまいります。
- 成形機事業においては、付加価値の高い特殊機に重点を置き、利益の確保に注力してまいります。
- しかしながら、上記の状況から業績面では厳しい状況が見込まれます。
- 当社としては、既存事業の競争力強化を図ることは勿論ではありますが、同時に新規製品開発、新分野開拓を強化してまいります。



2017年1月期業績予想 2. 業績予想

損益計算書(連結)

(単位:百万円・%)

	2016年1月期 (実績)				2017年1月期 (予想)	
	第2四半期累計		通期累計		第2四半期累計	
	金額	前年同期 増減率	金額	前年同期 増減率	金額	前年同期 増減率
売上高	4,425	△7.8	8,125	△13.6	3,560	△19.6
営業利益	431	△19.8	470	△55.8	20	△95.4
経常利益	607	△11.6	780	△38.0	160	△73.7
(当期)純利益	380	△24.0	258	△66.4	80	△79.0

事業別売上高

(単位:百万円・%)

	2016年1月期 (実績)						2017年1月期 (予想)		
	第2四半期累計			通期累計			第2四半期累計		
	金額	構成比	前年同期 増減率	金額	構成比	前年同期 増減率	金額	構成比	前年同期 増減率
プラスチック成形事業	3,880	87.7	△10.9	6,982	85.9	△16.6	3,135	88.1	△19.2
半導体関連	3,497	79.0	△12.8	6,254	76.9	△18.2	2,808	78.9	△19.7
その他	382	8.7	10.8	728	9.0	0.8	327	9.2	△14.6
成形機事業	545	12.3	23.0	1,142	14.1	11.1	425	11.9	△22.1
合計	4,425	100.0	△7.8	8,125	100.0	△13.6	3,560	100.0	△19.6

■ 現時点において、2017年1月期の1株当たり配当金については、中間配当10円を予定しております。



経営戦略 基本方針

1. 現存事業の競争力強化

コスト削減の徹底と
品質の造り込みにより、
市場でのポジションを向上。

	【プラスチック成形事業】			【成形機事業】
	工程内容器	出荷容器	樹脂・金属加工	
	当社コア技術を 応用展開し 新製品開発、 販売チャネル拡大	300mm シェア確保 450mm 市場を注視	グループ内での 技術連携 による事業拡大	・ 縦型の特長を活かした特殊機拡販 ・ 成形機～金型～自動化装置のセット販売

2. 新たな収益源の構築

既存事業で培った技術、獲得した資金、
収集した情報等を活かし、
新たな収益源となるべき
新製品開発・新事業構築に取り組む。

新製品開発	新事業
・高機能プラスチック製品ラインの拡大 ・グループ内技術の深化・連携による新分野開拓	・内外のリソースを活用したビジネス領域の拡大

3. グループ総合力の発揮

グループ内の製販技機能の連携を強化し、付加価値の高い技術・サービスを提供するグループとして独自性を高める。



本日はありがとうございました

「ミライアルの未来」

明日に向かって

「未来を見つめ」「未来を考え」「未来を創る」

夢と創造に挑戦

IR問い合わせ窓口

ミライアル株式会社 管理部

電話: 03-3986-3782 FAX: 03-3986-3853 E-Mail: investor_relations-m@miraial.co.jp

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。